

2014年度の「SANSHIN大学」の講座・講義は、下記のとおり開講されました。述べ受講者数は「本講座」と「ビジネス英語講座」を合わせ **292名** になっています。

(注)略号=SSG(サンシングループ本社)、SSD(サンシン電気株)

講座名/講義、発表テーマ		講師または発表者 (敬称略)	受講者数 (人)	場所	講義時間 (分)	開講日時
国際学術交流	「The overview of Sanshin company and Japanese SMEs」 「SSDにおける固定収益マネジメント・コントロールの実際」(報告と懇談)	石井宏宗氏 サンシングループ代表 サンシン電気株代表取締役社長	9	SSD本社 社長室	300	2014年 7月14日(月) 10:00~15:00 (Bruce教授のインタビューへの対応と部門の実務者とのディスカッションも含む)
研究会	SSD/電通大共同研究—2層インターリーブ方式対応電源の研究 「電流不連続モードに対する力率改善回路(PFC)の開発」	榎本崇人氏 電通大 樋口研究室 樋口幸治氏 電通大 准教授	7	同上	150	2014年 7月16日(水) 15:00~17:30 (報告・発表者と参加者とのフリートーキング含む)
ビジネス実務講座	「超小型キセノン放電管を可能とする諸条件について」	飯田武伸氏 (公財)埼玉県産業振興公社 産学コーディネータ	11		90	2014年 7月22日(火) 15:30~17:00 (講師と参加者によるフリートーキング含む)
SSG技術発表会	「電源の信頼性試験について」	石渡 純氏 サンシン電気株 セールスセンター テクノロジーPJT	11	SSD本社 第1会議室	40	2014年 8月21日(木) 15:00~15:40
	「新しい価値創出の組織的展開への思考技術—創成システム工学」	亀山 耀氏 サンシン電気株 コストセンター シニアエキスパート	10		90	" 15:40~17:10
ビジネス実務講座	「自分の頭の中を見てみよう！」	金井千明氏 サンシン電気株 セールスセンター テクノロジーPJT アドバイザー	10		60	2014年 9月25日(木) 15:00~16:00
	「10年後を見据えた営業活動」	野口敏雄氏 サンケン電気株 産機特約店グループ グループリーダー	20		90	2014年11月13日(木) 16:00~17:30
特別講座	「SANSHIN—DENKI Analysis and New Management Plan for FY2015」	石井宏宗氏 サンシングループ代表 サンシン電気株代表取締役社長	48	SSD本社 第1・第2 会議室	60	2015年 2月10日(火) 9:10~10:30 (SSG経営事業報告会&感謝祭2015での発表)
ビジネス実務講座	「マイナンバー制度・企業の対応と注意点」	坂東利国氏 弁護士 ホライズンパートナーズ法律事務所	25	SSD本社 第1会議室 遠隔地Net 放映	90	2015年 3月13日(金) 13:30~15:00 (同日同時刻に関西営業所、大分事務所へネット配信(受講))
	「民法の基礎知識」(2の1) S株式会社の法務部事件FILE PART1	荒井里佳氏 弁護士 ホライズンパートナーズ法律事務所	30		120	2015年 3月25日(水) 13:00~15:00 (同日同時刻に関西営業所、大分事務所へネット配信(受講))
受講者数 小計			181			

「ビジネス英語講座」の授業は、1コース/月2回×6ヵ月=計 12回を、2コース=計 24回 継続的に実施されています。

(注)授業は1回60分で、その後 昼食を取りながらのランチトーク(60分)もあり、計2時間です。

講座名/授業テーマ		講師	場所	受講対象者	延べ受講者数 (人)	回数及び開講日(上段)、受講者人数(下段)					
コミュニケーションスキルアップ講座	第2回 「ビジネス英会話・習活プログラム(2)」 (1コース/12回連続) English Conversation & Writing to Business(2)	Gregory Jarvie(Mr.) Jarvie English School(JES) 代表	SSD本社 第2会議室	サンシン電気株の社員から受講者を選抜し、「任命制」により継続的に授業を実施。	45	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
	4/8 (火)					4/23 (火)	5/13 (火)	5/28 (水)	6/10 (火)	6/24 (火)	
						7/8 (火)	8/5 (火)	8/26 (火)	9/9 (火)	10/7 (火)	10/15 (水)
						3	2	6	4	4	3
	第3回 「ビジネス英語・習活プログラム(3)」 (1コース/12回連続) English Conversation & Writing to Business(3)				66	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
						10/21 (火)	10/28 (火)	11/11 (火)	11/25 (火)	12/9 (火)	1/13 (火)
						4	3	7	8	6	6
						1/20 (火)	1/27 (火)	2/10 (火)	2/24 (火)	3/10 (火)	3/24 (火)
						7	3	8	3	8	3
受講者数 小計					111						
	定期検診 「エゴグラム検査の各自受検」	石井美帆 (株)エスシーツー 取締役専務		サンシングループ各社の社員を対象に、自主的に受検し、結果は自主評価にて活用。	48	2015年2月1日~9日の間に受検					
【 延べ受講者数 合計 】					292	(注)「エゴグラム検診」を除く、延べ受講者数。					

## ■各講座・講義の開講概要

### 1. 国際学術交流

サンシン電気(株)(SSD)では、明治大学経営学部 教授 鈴木研一氏の提唱する「固定収益マネジメント」を導入し独自の経営展開を行ってきました。その実際をSSG代表、SSD代表取締役社長 石井宏宗が国際戦略経営研究学会への論文発表や著作物への掲載、また各界の団体や企業からの要請を受け講演を行ってきました。この度、その実績が海外からも注目され、南オーストラリア大学 教授 Mr. Bruce Gurd (Ph. D.) を中心とする調査団が来社されました。

SSDにおける経営上からの実際について石井代表への取材が行われ、その後、各部門毎のメンバーと現場での実際について、精緻なインタビューと活発なディスカッションが長時間にわたって行なわれました。ディスカッションには関係スタッフも参加し、活発な意見交換を通じて新たな観点や更なる課題を学習しました。(注)取材への対応やディスカッションは全て英語で行われました。

### 2. 研究報告会—共同技術開発

SSDのテクノロジーPJTチームと、電気通信大学 情報理工学研究科 准教授 樋口幸治氏(樋口研究室)との間で、共同研究が続けられています。今回は2層インターリーブ方式対応電源の高度化への取り組みとして「マイコンを使ったデジタル電源によるPFC回路の開発」に関する成果を、知能機械工学 専攻の榎本崇人氏が中心になって発表(報告)が行われました。

SSDからは石井社長をはじめ技術開発メンバーと営業部門のメンバーも出席し、活発な質疑応答と今後の実用化へむけての課題やロードマップづくりなどの検討が行われました。

### 3. ビジネス実務講座—製品開発

サンシングループ(SSG)の1社である新光電機(株)(SKW)では、キセノン放電管を国内で開発し、フィリピン・セブ島の子会社CSI(CEBU SHINKOWA Inc)で生産し各界の機器メーカーに納入しています。今回はキセノン放電管の新たな用途に向けた更なる超小型の製品を開発すべく、光関連の専門家・諸氏を招き、超小型化を実現する要件とそのことを可能とする手段の検討が行なわれました。SKWからはキセノン放電管の技術部門のエキスパートをはじめ生産管理、品質管理のエキスパートも参加し、活発な検討が行われました。

### 4. SSG技術発表会—事例発表

毎年開催している本発表会は、SSG各社の若手技術者をはじめ各センター(部門)の現場実務担当者の成果発表の機会と学習の場として、またエキスパートによる専門分野の知見の講義の場として開講されています。発表テーマはハード技術、ソフト技術、システム技術、思考技術などへと拡充し、実際に取り組んだ事例の成果をもとに発表がなされています。今回は

- 1) SSDの電源製品の高度化に対応した品質・信頼性の試験方法の確立を、実際に取り組んだ課題とその成果、プロセスなどの発表がなされました。
- 2) イノベーションへの取り組みと成果が期待される今日、その組織的展開による創造と実現への思考体系と、展開プロセスや構成されている各方法論について、東大宇宙研、組織工学研究所、本田技研、その他などでの先進事例をもって解説がなされました。

### 5. ビジネス実務講座—自己開発

大手エレクトロニクス・メーカーで長年にわたり製品開発や品質管理に取り組んできた経験と実績を有するシニアエキスパートを講師に、新たなモノゴトの着想や自己開発へのノウハウを、自身の失敗から学んだ効果的なノウハウなどを、クイズなども出題しながら分かり易い解説をいただきました。リラックスした雰囲気の中、示唆に富んだ有意義な講義が行われました。

### 6. ビジネス実務講座—営業展開

SSDの提携先であるサンケン電気(株)(SK)から講師を招き、SKでの10年先を見据えた技術・製品開発や営業展開についての説明を頂き、今後のSSDの営業上での施策や活動を展開して行く上で新たな課題や具体的な手段などを想起できた勉強会になりました。終了後、懇親会が催され席上でも質疑応答がなされる中、顧客先へのアプローチ法なども話題として話し合われました。

### 7. 特別講座—経営実績報告と今後の経営方針、展開施策

今期も「SSG経営事業報告会&感謝祭2015」が、2015年2月10日に開催され、定時社員を除くSSG各社の全社員が一堂に会し受講しました。その経営事業報告会で、SSG代表、SSD代表取締役社長 石井宏宗が講師となり、SSDの新中計(2年度)の経営方針と戦略的重点課題とその実現への取り組み、各センター(部門)の役割機能と目標、施策などが具体的に語られました。

本講義は、SSGの国内外各社・事業所へも同時配信され、各所の方々も受講されました。

### 8. ビジネス実務講座—法令改正への対応

1年後に迫ったマイナンバー制度への対応の取り組みを、更に効果的且つ効率的に実行して行くために、他社の先進事例を指導してきた講師を招き、実務上での対策と注意点を改めて学習し、現行の業務システムと情報セキュリティシステムとの連動・強化などの検討も行われました。

### 9. ビジネス実務講座—取引上でのトラブル、リスクの防止

先ず民法が適用される対象や範囲、その構成されている法律を分かり易く解説していただき、その後、サンシン電気(株)(SSD)の半導体及び部材の販売と、電源の受注製作(設計開発、外注製造)納品における取引上、業務上でのトラブルやリスクの発生防止、発生時対策に関し、民法の観点から解説をいただきました。今後の対応面で大いに参考になった実践的な講義が行なわれました。

### 10. コミュニケーション・スキルアップ講座—ビジネス英語

3年前から継続的に開講している「ビジネス英会話講座」(1コース12回)は、既に5コースを数え、初期の日常的英会話からビジネス英語へ、更に「ビジネス英語・実践講座」へとレベルアップした授業となっています。この間、任命制による受講者は一定のレベルに達すると卒業生となり、少しずつ入替ってきています。実務上での話す、書く、伝える、理解できることを目指し、修得レベル評価も実施され、自己啓発による学習と相まってレベルアップが顕著に現れてきています。

■ SANSHIN大学での教育研修とは別に、SSD各センター(営業・設計開発・調達・生産管理・品質保証・管理・財務など各部門)毎に業務上での知見の強化やスキルアップは、各センター長のもとでOJT/OFFJTIによる教育研修も継続して実施されています。

■ 遠隔地の事業所へのNet動画配信

今期から東京本社での講義は、同時にSSD関西営業所(大阪)、SSD九州事務所(大分)、SKW子会社のCSI(フィリピン・セブ工場)へも配信され、現地での受講が開始されました。

■ SSDのサーバー上に「SANSHIN大学・年度別ライブラリー」が設けられ、全ての講座・講義の「レジュメ、テキスト、解説、PPT資料」をはじめ関連文献や出版物の案内なども掲示されており、SSG各社の社員の方であれば、誰でも閲覧し学習することができますようになっています。業務の都合で講義に欠席された方々も、自主的に掲示資料を閲覧し学習されています。